

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和 2 年 6 月 26 日
大阪管区気象台

近畿・中国・四国地方の夏から秋にかけての潮位について ～ 浸水・冠水に注意 ～

近畿・中国・四国地方では、夏から秋にかけて潮位が高くなるため、浸水や冠水が発生しやすくなります。

夏から秋にかけては海水温が高くなることなどの影響で、天文潮位^{※1}が高くなり、沿岸地域では浸水や冠水が発生しやすくなります（別紙 図 1）。

特に、7 月から 11 月までの大潮の時期（満月と新月の前後数日間）には、満潮時の潮位が高くなります（別紙 表 1、図 2～図 6 参照）。

また、台風や低気圧が接近したり、異常潮位^{※2}が発生したりした場合は、さらに潮位が高くなりますので、より一層の注意が必要です。地元気象台から発表される高潮特別警報・高潮警報・高潮注意報や潮位情報に留意してください。

発表された高潮特別警報・高潮警報・高潮注意報や潮位情報は、地元気象台や大阪管区気象台、気象庁のホームページに掲載しています。また、各地の観測潮位や天文潮位は以下のホームページに掲載していますのであわせてご利用ください。

- ・ 大阪管区気象台^{※3} : <https://www.jma-net.go.jp/osaka/kaiyo/kaiyo.html>
- ・ 気象庁 : <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

※1：過去の観測データから求めた潮位の予測値

※2：潮位が比較的長期間（1 週間から 3 か月程度）継続して平常より高く（もしくは低く）なる現象

※3：本資料のリンク <https://www.jma-net.go.jp/osaka/kaiyo/setsu/20200626choui.pdf>

問合せ先：気象防災部 地球環境・海洋課 担当 下田・高井
電話 06-6949-6653 FAX 06-6949-6160

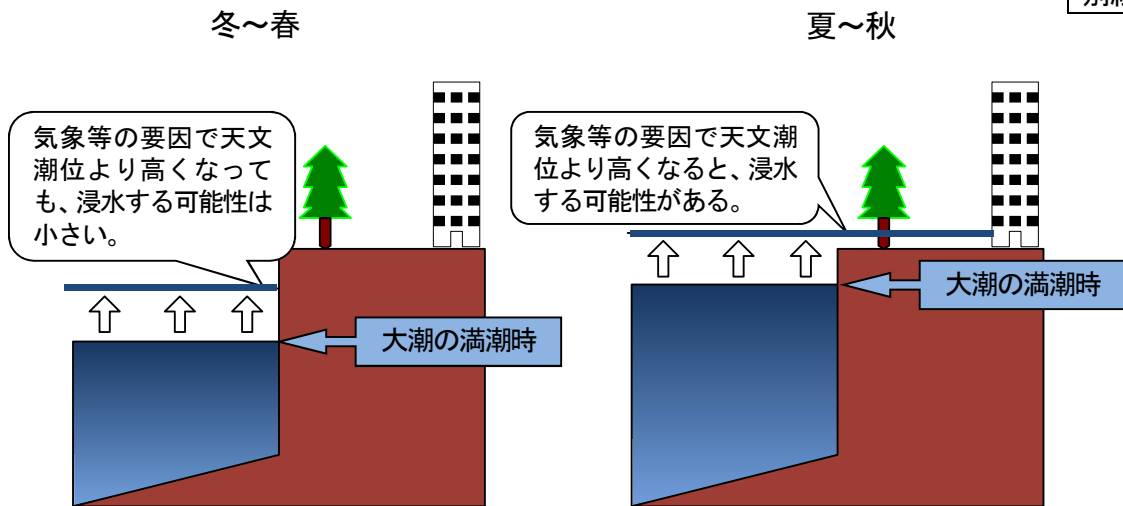


図1 冬～春の潮位と夏～秋の潮位の比較

夏から秋にかけては冬～春に比べて潮位が高くなるため、わずかな水位の上昇で浸水などの被害発生につながります。

表1 令和2年7月から12月の満月と新月の日

月	新月	満月
7月	21日	5日
8月	19日	4日
9月	17日	2日
10月	17日	2日、31日
11月	15日	30日
12月	15日	30日

満月や新月の日の前後数日間が大潮の時期にあたります。

また、同じ大潮の時期でも、満潮の潮位が最も高くなる日は、地点によって異なる場合があります。

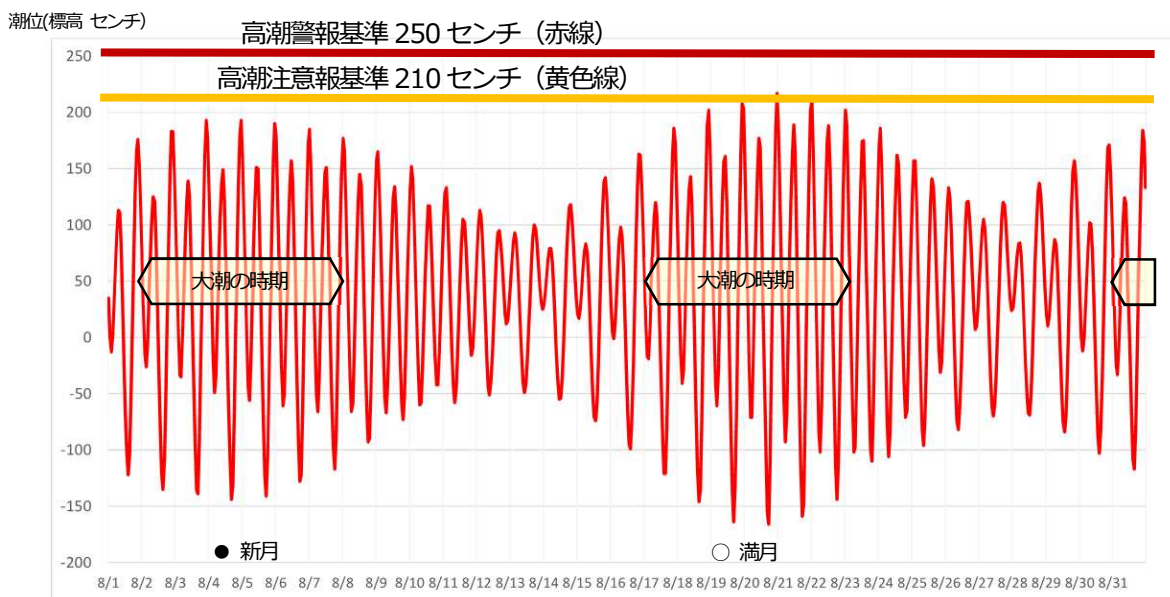


図2 広島における令和2年8月の天文潮位

大潮の時期は満潮と干潮の差が大きくなり、満潮時の潮位が特になくなります。

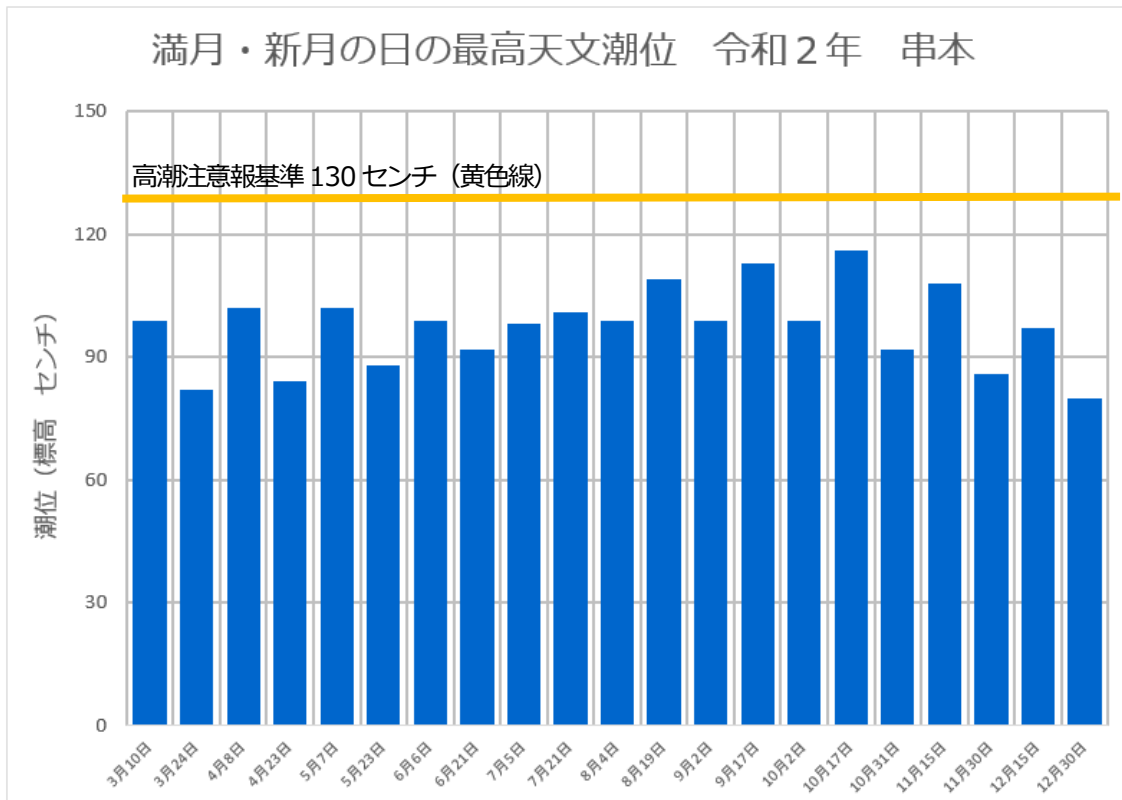


図3 満月・新月の日の最高天文潮位 (和歌山県 串本)
 グラフの日付は、満月・新月の日を表します。

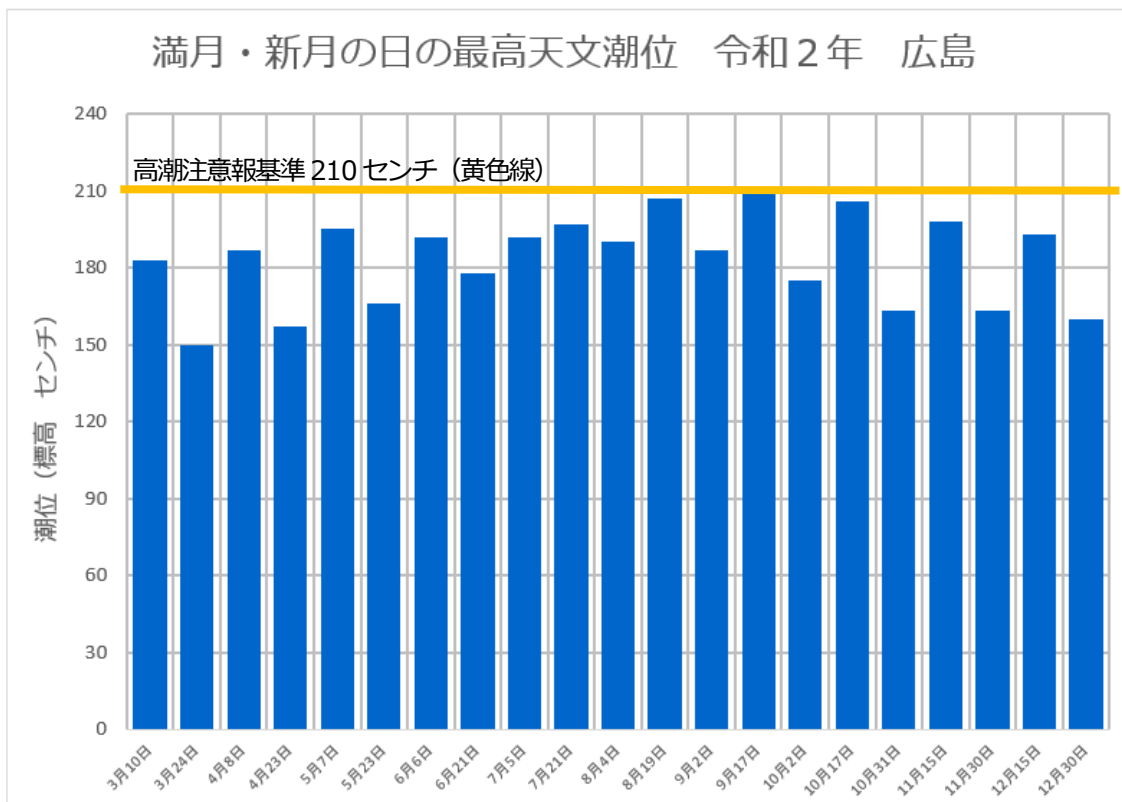


図4 満月・新月の日の最高天文潮位 (広島県 広島)
 グラフの日付は、満月・新月の日を表します。

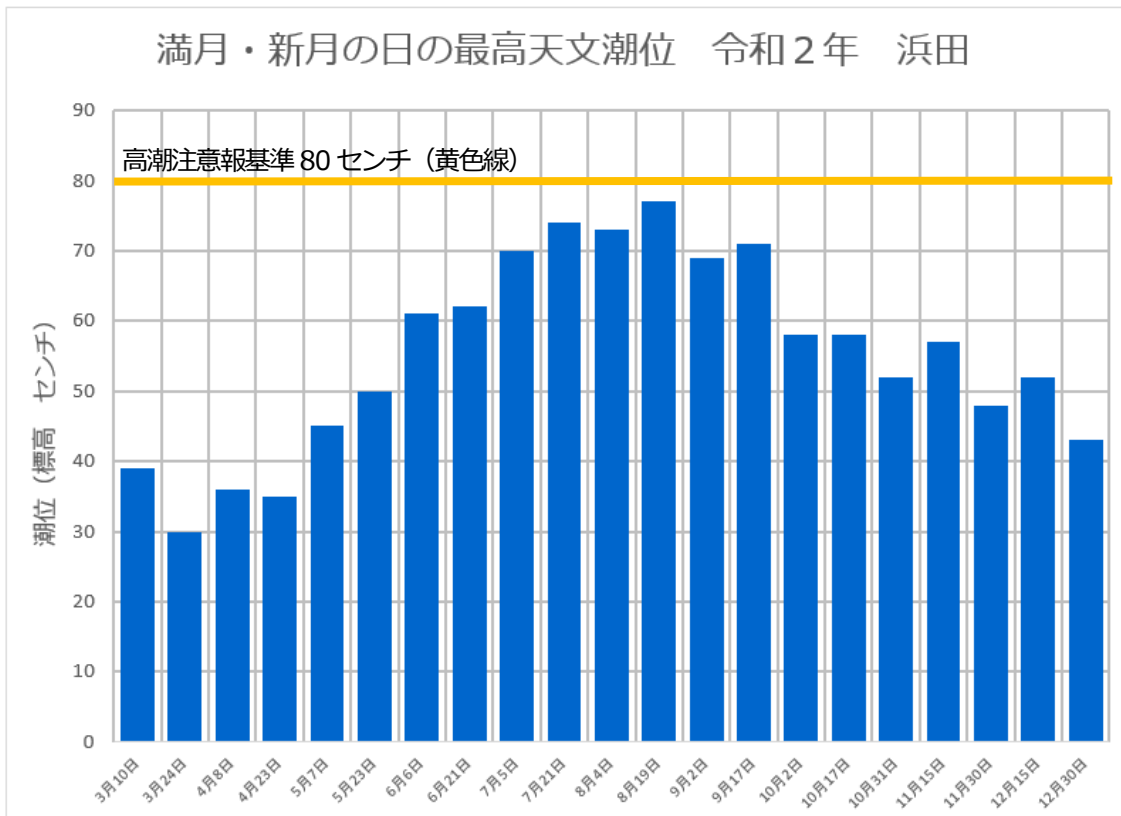


図5 満月・新月の日の最高天文潮位（島根県 浜田）
 グラフの日付は、満月・新月の日を表します。

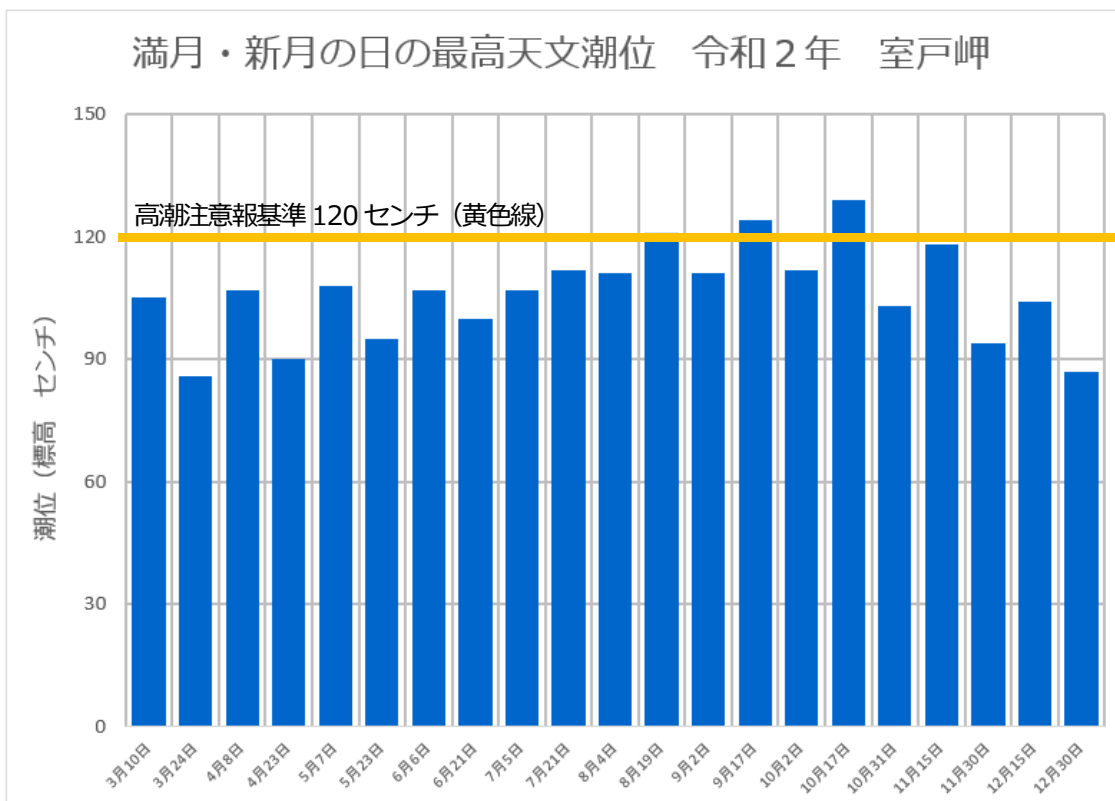


図6 満月・新月の日の最高天文潮位（高知県 室戸岬）
 グラフの日付は、満月・新月の日を表します。